



# 特別支援教育での実施プロジェクト(H29当初予算分10)の概要

実証場所	実施主体	実証校(実証会場)	概要(①対象、②指導者、③特徴)
【知的障害、肢体不自由、聴覚障害、病弱、自閉症・情緒障害】			
富山県 富山市	富山県教育工学研究会 (研究代表：国立大学法人 富山大学水内豊和)	・富山市立芝園小学校	①特別支援学級(小学校) ②教員、市民ボランティア ③<課程内>プログラミングを通じた <b>通常学級との交流及び共同学習のモデル</b> を開発
【知的障害、肢体不自由、聴覚障害、自閉症・情緒障害、言語障害】			
神奈川県 横浜市 愛知県 清須市	合同会社デジタルポケット	・横浜市立仏向小学校 ・清須市立西枇杷島小学校 ・清須市立古城小学校 ・清須市立新川小学校 ・清須市立清洲東小学校	①特別支援学級(小学校) ②教員 ③<課程内> <b>我が国で開発された教育用プログラム言語“viscuit”</b> を用いて特別な要員や機材がなくとも対応可能な教育モデルを開発
【知的障害、肢体不自由、病弱】			
奈良県 奈良市	学校法人冬木学園畿央大 学教育学部西端研究室	・奈良県立奈良養護学校	①特別支援学校(小学部、中学部、高等部) ②大学生 ③<課程内> <b>「自立活動の時間」に応用可能な教育モデルの開発</b> と指導者育成を実施
【知的障害、肢体不自由、発達障害】			
沖縄県 石垣市	学校法人日本福祉大学ス ポーツ科学部スポーツ学 科金森研究室	・沖縄県立八重山特別支援学校 ・沖縄県立八重山商工高等学校	①特別支援学校(幼稚部、高等部)、 特別支援学級の児童生徒 ②高校生、教員、福祉事業者スタッフ ③<課程内・外> 地元の工業高校、福祉事業者、民間事業者が連携し、 <b>地元の高校生をメンターとした持続可能な教育システム</b> を開発

実証場所	実施主体	実証校(実証会場)	概要(①対象、②指導者、③特徴)
【知的障害、自閉症・情緒障害】			
島根県 津和野町	株式会社エヌ・ケイ・アセント	・津和野町立津和野中学校	①特別支援学級(小学校・中学校) ②町職員、教員、市民ボランティア ③<課程内・外> <b>地元発祥のビジュアル言語“Smalruby”</b> を活用。県主催のコンテストへの出展をゴールとし、地域住民がメンターとなったモデルを開発
【知的障害】			
東京都 練馬区	株式会社エンベックスエデュケーション	・東京都立石神井特別支援学校	①特別支援学校(中等部) ②教員 ③<課程内> <b>運動と組み合わせて視覚的・体感的にプログラミング</b> を学ぶ教育モデルを開発
【肢体不自由】			
東京都 世田谷区	NPO法人 CANVAS	・東京都立光明学園	①特別支援学校(中等部・高等部) ②教員、介助職員、現役IT企業社員 ③<課程内> マイコンボードとジェスチャーや音声での入力が可能な <b>センサー教材を使ったプログラミングによるものづくり</b>
【視覚障害】			
東京都 文京区 茨城県 つくば市	科学ヘジャンプ ・全国ネットワーク	・筑波大学附属視覚特別支援学校 ・筑波技術大学システム情報学科	①特別支援学級(中学校)、特別支援学校(中等部) ②視覚障害のある大学生、現役エンジニア ③<課程外> 視覚障害がある大学生をメンターとして育成し、「 <b>視覚障害のある児童生徒がプログラミングを学べるワークショップ活動</b> 」を推進

実証場所	実施主体	実証校(実証会場)	概要(①対象、②指導者、③特徴)
【聴覚障害】			
香川県 高松市	株式会社ミスターフュー ジョン	・かがわ総合リハビリテーションセン ター	①特別支援学級(小学校) ②保護者(香川県難聴児(者)親の会) ③<課程外>聴覚障害児(者)の保護者をメンター として育成し、NICTが開発した「こえとら」、 「UDトーク」を活用したプログラミング講座を実 証
【発達障害】			
福井県 福井市 坂井市	国立大学法人福井大学	・福井県立福井東特別支援学校 ・福井大学たんぽぽ教室 ・平谷こども発達クリニックはぐくみ ・NPO法人AOZORA福井 ・はるもにあ(福井市地域活動支援セ ンター)	①特別支援学校(高等部) ②福祉事業者スタッフ、保護者 ③<課程外> <b>地元の福祉事業者をメンター</b> とし、発 達障害の特性に応じた <b>3DCGのプログラミング教材</b> <b>を開発</b> して持続可能なモデルを実証